



1 年を振り返って

附属総合情報センター長 氷見 徹夫
(耳鼻咽喉科学講座 教授)

本年4月より當瀬規嗣前所長のあとを受け、札幌医科大学附属総合情報センター長の任に当たることになりました。微力ではありますが、新しい任務に精一杯努める所存であります。

皆さまもご存じのとおり当センターは図書館と学内ネットワークシステムの2つのサービスの管理運用を行っています。図書館は大学設置基準において設置が定められているように教育研究を進める上で必要不可欠の機能です。本学図書館も前身であります旧女子医学専門学校が開学した昭和 25 年に設置され、以来、最新の学術情報の提供に努めてきました。また、学内ネットワークシステムは、平成 11 年4月開設の旧情報センターの業務を継承し、今日に至っています。図書館に比較し、歴史的には新しいですが、今日のICT(情報通信技術)の飛躍的な発展に見られるとおり、今やネットワークを使った情報伝達や管理は、私たちの生活に深く浸透しているとともに、大学教育や学術研究を左右する重要、かつ不可欠の機能となっています。

図書館と学内ネットワークシステムの2つのサービスは、まさに情報の収集と発信であり、表裏一体の機能と言えますが、当センターは、本年、その2つのサービスの再整備に着手しました。詳細は次ページ以降でご紹介していますが、図書館では、平成 15 年度より全学の協力により実施してきました電子ジャーナル・コンソーシアムを中心にした国外学術雑誌について、個々のタイトルについて利用状況を調査し、大規模な整備計画の見直しを行いました。また、学内ネットワークシステムについては、本年9



月に各種サーバやスイッチなどのネットワーク機器の賃貸借契約が終了することから機器の更新を行なうとともに、サービス面では新ファイルサーバシステムの導入などによりセキュリティと利便性の向上に重点を置いた改善を行いました。

本年の再整備は、皆さまのご協力により予定どおり完了することができましたが、整備そのものは、来年以降も継続していくこととなります。ご周知のとおり国外学術雑誌の価格問題は、”学術雑誌の危機 (Serials crisis)”と呼ばれているように国際的にも喫緊の課題となっています。必要な論文のみを購入する”ペイ・パー・ビュー (Pay per view)”など新しい購読形態も含め、持続可能な整備計画の検討が必要と考えています。また、学内ネットワークシステムについては、現在進行中の新校舎整備計画に相応した堅牢で、かつ機動力のある情報インフラストラクチャーの検討が求められています。当センターの総力をあげ、これらの課題に取り組んでいく所存です。引き続き、皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

セインズ SAINSの新しい機能とサービス

当センターでは、本年9月、本学学術ネットワークシステム「SAINS（セインズ）」の機器更新を実施いたしました。新SAINSでは、セキュリティと利便性の向上に重点を置き、従来から提供していますアカウント管理システムやグループウェアの改善をはかるとともに、新たなファイル共有サービス「Proself（プロセルフ）」の導入を行いました。ここではこれらシステムの機能とサービスについて簡単にご紹介させていただきます。

1 アカウント管理システム

(url <https://smanager.sapmed.ac.jp/ams>)

当センターが提供する全てのサービスの個人認証はSAINSアカウント（電子メールアドレスの@マーク前の部分とパスワード）を使用しています。アカウント管理システムは、ご使用のパスワードの変更のほか、本学電子メールの他アドレスへの転送、メーリングリストの管理を行なうことができます。従来、パスワードの再設定では、当センターまでお越しいただく必要がありましたが、今回の改修により緊急連絡先メールアドレスを設定することによりご自身で再設定することが可能となりました(右表参照)。なお、パスワード再設定では使用する文字にルールがあります。詳細は後述4のご利用方法ご案内ページをご参照ください。

表 パスワード再設定方法

パスワードの状況	内 容
現在使用中のパスワードを変更(パスワードは知っている)	「個人情報」タブ→「個人情報変更」を選択後、「個人情報編集」内に新しいパスワードを入力
パスワードは不明。本学電子メールの受信は可能	アカウント管理システムのログイン画面内の「パスワードを忘れた場合はこちら」を選択し、本学メールアドレスを入力。送付されたメールの内容に従い、ご自身で再設定
パスワード不明で、本学電子メールの受信もできない	当センターにお越しいただき、再設定を行います。緊急連絡先メールアドレスを私有アドレスに変更することもできます。

2 ファイル共有サービス「Proself」

(url <https://drive.sapmed.ac.jp/>)

「Proself」は、本学教職員を対象としたオンライン・ストレージ・サービスです。SAINSアカウントをお持ちの教職員であれば、申請不要で500MBまでデータを保存することができます(右図参照)。保存したデータは学内外から読み書きできますので、USBなどの外部メディアでのデータ持ち歩きの際の紛失や盗難などのリスクを回避することができます。また、Proselfでは公開フォルダや受取フォルダの設定により学内外の方々とファイルの授受ができます。授受の際にはメールアドレスの指定、ワンタイム・パスワードや有効期限などのセキュリティを設定することもできます。なお、Proselfは、Webインタフェースのほか、Windows、MacOS、iPhone、Androidの専用クライアントを使用できます。詳細は後述4のご利用方法ご案内ページをご参照ください。

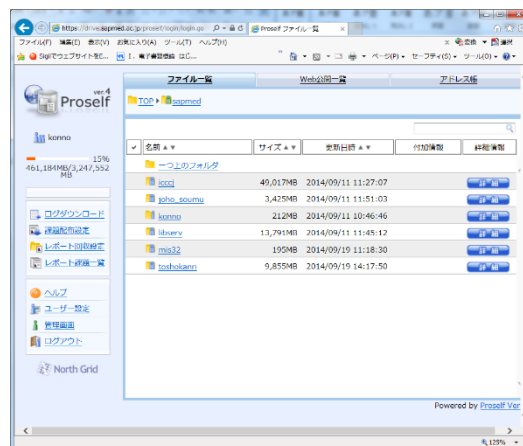


図 Proself ログイン後のフォルダ画面

のほか、所属課ごとのポータルページ公開、ファイル管理による各種資料の配布、各種施設の予約管理などを使用することができます。スケジュール管理は申請不要で、どなたでも利用できます。ポータルページ、ファイル管理、施設予約の各機能の利用は事務所属課単位です。ご希望の方は下記までお問い合わせください。

3 グループウェア「GroupSession」

(url <https://groupware.sapmed.ac.jp/>)

「GroupSession（グループセッション）」は、本学教職員を対象としたグループウェアです。個人やグループ単位でのスケジュール管理

4 その他

当センター提供の各種サービスのご利用方法詳細は、当センター・ホームページ→「情報ネットワーク」→「システムとサービス」でご確認いただけます。また、ご不明の点につきましては、当センター・ホームページ右上「Contact」よりお問い合わせください。

(総務・システム係 内線2239)

平成 27 年度国学術雑誌整備について

本学で購読する国外学術雑誌は、平成 15 年度より”国外学術雑誌学内 1 誌化”と呼ばれる整備手法（右コラム参照）により全学が協力して購読誌の充実を図ってきました。しかしながら、毎年度 8%前後の版元価格の上昇に加え、一昨年来の極端な為替円安、さらには消費税率の引き上げの影響を受け、平成 27 年度については、大学全体で本年度比約 17%の購読額の上昇が見込まれることとなり、去る 10 月 27 日開催の平成 26 年度第 3 回附属総合情報センター運営委員会において、購読誌の抜本的な見直しを決定いたしました。ここでは、平成 27 年度国外学術雑誌の整備内容について概説いたします。

なお、検討経過、購読および中止タイトルの詳細につきましては、当センターの下記ご案内ページ（学内者限定）で公開していますので、併せてご参照ください。

[平成 27 年度国外学術雑誌購読タイトルの決定について]
url <https://infonavi.sapmed.ac.jp/jpn/internal/1829/>

国外学術雑誌学内 1 誌化とは

本学国外学術雑誌予算の効率的な執行と閲覧誌数の拡充を目的に次の取り組みを行っています。

- ① 日本医学図書館協会(JMLA)、大学図書館コンソーシアム連合(JUSTICE)が実施する電子ジャーナル共同購入事業(コンソーシアム)の包括契約により購読誌数の数倍のタイトルの閲覧権を取得し、誌数の充実をはかる。
- ② 包括契約維持条件を満たすため、講座購読誌も含め、全学での購読タイトル調整を実施。
- ③ 購読タイトルは、当センター運営委員会の審議により決定。

1 整備の考え方

平成 27 年度国学術雑誌の決定にあたっては、従来の包括契約コンソーシアム (Big deal) を可能な限り維持しつつも、講座購読希望調査での中止希望状況および平成 25 年の利用状況を考慮し、包括契約対象出版社および個別契約タイトルの決定を行いました。また、契約タイトル等の決定における利用状況の判定は次の基準により行ないました。

- ① 包括契約コンソーシアムは、年間ダウンロード件数 50 件以下のタイトルが包括契約閲覧可能誌数の 5 割を超える出版社について、包括契約コンソーシアムを中止し、個別契約へ切り替えることとしました（包括契約が価格的に優位な場合は除く）。
- ② 個別契約誌については、年間ダウンロード件数が 50 件以下のタイトルを購読中止対象としました（包括契約コンソーシアムから個別契約へ変更となったタイトルも同様の扱いとする）。

2 整備結果

上記 1 の結果、平成 27 年度契約では、包括契約コンソーシアム 3 社について個別契約へ移行することとなりました。また、個別契約では 3 社 26 誌の購読中止を決定いたしました（右表参照）。なお、個々のタイトルの詳細については、前述ご案内ページをご参照ください。

表 平成 27 年度購読見直し結果

契約区分/出版社名	閲覧可能誌数 (誌)		
	H26	H27	差異
包括契約コンソーシアムの中止			
Wiley-Blackwell	790	46	▲766
Karger	74	1	▲73
LWW Nursing Full Text	43	2	▲41
個別契約誌の見直し			
LWW 個別契約	36	25	▲11
Elsevier	109	95	▲14
Nature	29	28	▲1

冒頭で述べましたとおり、平成 27 年度契約購読誌の決定にあたり、10 年余り全学にご協力いただき、維持してきた整備計画を部分的とは言え、見直すこととなりました。版元値上げに起因する”学術雑誌の危機”の対抗策については、国際的にも抜本的な打開策がないのが現状ですが、徐々に普及しつつある論文単位の購読形式 (Pay per view) も含め、積極的に検討を進めていきたいと考えます。引き続き、学内関係各位のご理解とご協力をお願いいたします。

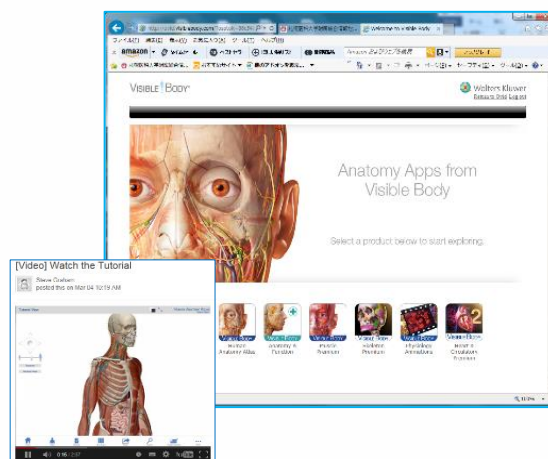
(図書係 内線 2423)

3次元人体解剖画像ツール「Visible Body」提供開始のお知らせ !!

10月31日よりトライアルによりご利用いただいております Wolters Kluwer 社の3次元人体解剖動画ツール「Visible Body」ですが、1月9日より正式提供することとなりましたのでお知らせいたします。現在のトライアルは、12月27日までですが、まだご利用になられていない方はぜひ一度お試しください。Visible Body の接続先アドレスなどは次のご案内ページをご参照ください。

url <https://infonavi.sapmed.ac.jp/jpn/news/1786/>

なお、利用マニュアルにつきましては、現在準備中ですので、今しばらくお待ちください。また、この度の Visible Body の導入に伴い、これまでご利用いただいていた informa business 社ヒト3次元解剖図譜 Primal Pictures Anatomy.tv の提供を中止させていただきますので、ご了承ください。



冬季休業・年末年始期間中、図書館開館時間に変更となります

冬季休業および年末年始の期間中、下記のとおり図書館の開館時間に変更となりますのでお知らせいたします。

期 間	通常開館	特別開館
12月15日(月)～25日(木)	9:00～17:00	17:15～翌日9:00
12月20日(土)～21(日)、23日(火・祝日)	-	9:00～翌日9:00
12月26日(金)	9:00～17:00	休 館
12月27日(土)～1月4日(日)	休 館	休 館
1月5日(月)～	9:00～20:00	20:15～翌日9:00

※総合情報センター図書館利用規程第2条（開館時間及び特別開館時間）および同3条（休館日）による。

◆総合情報センターへのお問い合わせ先

お問い合わせ内容	内 線	E-mail	照会先
図書館の利用に関すること	2424	libserv@sapmed.ac.jp	利用サービス（カウンター）
学内所属員の文献複写依頼に関すること	2418	illo@sapmed.ac.jp	利用サービス
学外からの文献複写の申し込みに関すること	2417	illr@sapmed.ac.jp	利用サービス
図書に関すること	2416	book@sapmed.ac.jp	図書係
雑誌に関すること	2423	serial@sapmed.ac.jp	図書係
札幌医学雑誌に関すること	2416	satuisi@sapmed.ac.jp	図書係
メール・アドレス、学内LANに関すること	2239	icccj@sapmed.ac.jp	総務・情報システム係
図書館へのご意見・ご要望に関すること	2413	konno@sapmed.ac.jp	主任司書

誌名「Barks（パークス）」は、本の語源でありますラテン語の「樹皮（liber）」の英訳です。

パークス
Barks

Sapporo Medical University
Scholarly Communication Center

北海道公立大学法人
札幌医科大学附属総合情報センター

〒060-8556 札幌市中央区南1条西17丁目
TEL 011-611-2111(代表) FAX 011-641-9646

URL <https://infonavi.sapmed.ac.jp/jpn/> E-mail libserv@sapmed.ac.jp